自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I .理	念・安心と安全に基	づく運営					
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた 事業所理念をつくり、管理者と職員は、そ の理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	毎日の申し送りにおいて理念を復唱 しており、共有に努めている。理念は 「家庭的雰囲気を大切にし個々に合 わせた生活が送れるように支援しま す」で、個別ケアに力を入れている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防のため、交流は中止してい る。	コロナが落ち着いたら交流もできるようになる。子供たちとの交流などできたらいい。(家族代表)うちのお寺で楽器演奏会などを開催する時があるので見学に来て下さい。		
3	運営推進会議を活 かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービス の実際、評価への取り組み状況等につ いて報告や話し合いを行い、そこでの意 見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	行政やサービス等の報告及び予定、 防災関連や地域の情報交換なども 行い、相互協力を図っている。	コロナ禍で減ってしまった地域交流の場を取り入れていきたいので情報交換など、これからも連絡を取り合いながら協力していきたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り 組みを積極的に伝えながら、協力関係を 築くように取り組んでいる	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	市町村や広域連合は勿論、社協、包括、民生委員などと協力関係を築くよう取り組んでいる。	日頃から連絡を取り合っているのでこれ からも協力していく。(民生委員)コロナが 落ち着いたら施設見学に行きたいです。		
5	身体拘束をしない ケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具体 的な行為」を正しく理解しており、玄関の 施錠を含めて身体拘束をしないケアに取 り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束などの排除マニュアルを作成し、研修会を開催している。日中 は施錠を行わず、のびのび生活でき る環境を提供している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き定期的なマニュアルの確認、 見直しや研修会を実施し身体拘束の排 除に努めていく事が望まれる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	職員研修会を開催し、職員の意識向上に努めている。身体的虐待は勿論、言葉による精神的虐待についても職員同士が注意しあい、防止に努めている。		A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	定期的な研修会をはじめ、職員間での コミュニケーションを図ることで、虐待を 防止する環境づくりに取り組んでいる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	実際に権利擁護を受けているご利用者を受け入れ、実践を兼ね、権利擁護についての必要性を学び活用している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	契約の際には、ご利用者及びご家族 の方々に、十分な説明を行う事で理 解を得ている。			
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	意見や要望は日常的に聞き入れる 他、面会や電話等を通じ取り上げて いる。また法人内の苦情解決委員会 や玄関に意見箱を設置するなどし、 反映している。		A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	運営推進会議における利用者家族の 話からも、要望等を職員等に表せる体 制が確認できる。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	職員会議や日常の申し送り、連絡ノートなどを活用し、意見や提案をかわし、運営に反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心を 持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	勤務割り当てや休暇願いなど、柔軟に対応している。また職員から出た アイデアや提案を会議にて検討する ことにより、やりがいや向上心を持っ て働ける職場環境に努めている。		A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	職員の休暇希望等の勤務状況を聞き、 対応している。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	法人内の研修や、希望があれば研修を受けられる機会が確保できるよう努め、資格取得を行えるよう努めている。		A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	法人内外の研修への参加機会が設け られ、より質の高い職員体制の確保に 努めている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 充分にできている B. ほぼできている ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	同じ地域の同業者との関わりを持つ ことにより、意見交換や困難事例な どについて話し合い、サービス向上 に努めている。相互訪問はコロナ対 策のため、現在行っていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	個々に合わせた生活が送れるよう、 ご利用者の生活リズムを把握し、支 えあいながら生活できるよう努めて いる。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生まれ育った地域へのドライブや訪問により、馴染の場所や人との関係が途切れないように努めている。	コロナ禍で交流の機会が減っているが、 工夫して支援をしている。またわらべの 施設自体でも普段の会話や海が見えた り、馴染の場所になっているのではない か。		

II. 3	その人らしい暮らしを	続けるためのケアマネジメント					
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	一人ひとりの思いや、希望、意向の 把握に努め、本人との日常会話や面 会の方々との意見交換により集めた 情報から本人の視点に立って検討を 行っている。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリン グ	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	本人の意向や変化を把握し、家族と の定期的・随時の連絡で得た意見を 反映し、全職員が対応を話し合い、 介護計画を作成している。	意向の把握が難しい部分があるかもし れないが、一人ひとりに合わせていろい ろな内容を取り入れているので良いと思 う。	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	本人及び家族の意見を取り入れ、現 状を把握した計画を立てている。またモニタリングを行い、随時契約の見直しも 行っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	個人の記録を残すことにより、それを もとに気付いたことや、改善方法など を話し合っている。また、申し送りノ ートを活用している。		A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	職員間で情報共有を行い実践への反 映に活かすことができていた。
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	病院への送迎及び付き添いや、興 奮時の気分転換を兼ねた外出など、 その時のその人に合った支援に努 めている。	その人の状況に合わせて、個人に合わせた支援に取り組んでいる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよ う支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣での展示会を見に行ったり、馴染の場所への外出など地域資源の 活用を行っている。	コロナが落ち着いたら地域交流の機会を 増やしていきたい。家族代表の方のお寺 さんとも交流をしていければ。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	ご本人やご家族の希望に応じたか かりつけ医や協力医療機関を利用 し、適切な医療が受けられるよう支 援している。			
22	入退院時の医療機 関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談に 努めている。あるいは、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている。	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	服薬情報などの個人情報を個々にファイリングし、緊急時や入院時の情報提供に活用するなど、ご利用者やご家族が安心して治療できるよう努めている。また面会は困難な状況の為、カンファレンスへの参加や電話等で情報を得るように努め、退院後の施設対応の準備を行っている。		A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	施設と病院間での連携を密にとれており、また緊急時の対応についてもしっかりと職員間で統一されていることが分かった。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	契約時に施設の方針や対応できる 範囲について説明し、了解を得てい る。ご本人、ご家族の意向を聞き、職 員全員で方針を共有している。ご家 族と連絡を密に取り、医療機関と連 携しながら終末期支援に努めてい る。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	対応できることの制限もあるが、家族 や医療機関、また、法人内の特養等とも 連携し終末期支援の信頼度を高めてい る。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全 ての職員は応急手当や初期対応の訓練を 定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	事故緊急時対応マニュアルを作成し、会議にて定期的に話し合い及び訓練を行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が 身につけるとともに、地域との協力体制を 築いている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	毎月の防災訓練に加え、法人全体 の訓練も行っている。	その時の状況に応じて訓練を行っている のは良いと思う。大変でしょうけど、大切 な事なので。	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	施設の立地上、周辺住民等との協力体制の構築には、難しい部分もあるが、同法人内の近隣施設からの応援体制等により補っている。
Ⅲ. ₹	その人らしい暮らしを	続けるための日々の支援					
26	ー人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	ご利用者一人ひとりの気持ちを大切にし、支援にあたるようにしている。 また失敗や不穏行動時などにも、寄 り添いさりげないケアを心掛けてい る。		A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	申し送りノートや個人の記録の活用、 定期的な研修等により、利用者個々に 寄り添ったケアを行っている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	一人ひとりの嗜好に添った生活支援 ができるように、体調やその日の気 分を考慮したうえで、声掛けや見守 りを行っている。			
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをして いる	B. ほぼできている	食前・食後のうがいや、配膳、後片付けなどできる範囲での手伝いをお願いしている。また、本人の好き嫌いを把握し、食事に対応している。行事の際にはクッキングを取り入れ一緒に調理などを行っている。		(A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	定期的に季節に合った催し物を開催 し、焼き芋を利用者と行うなど利用者主 体で取り組まれている様子がうかがえ た。
29	栄養摂取や水分確 保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	管理栄養士によるバランスの取れた 献立になっている。また食事中の見 守りや介助は勿論の事、咀嚼の状 態に合わせ刻みやソフト食等の対応 を行っている。			

30	口腔内の清潔保持	ロの中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力 に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	食事前後のうがいや食後の歯磨きを 促進し、声掛けや介助を行ってい る。自分で口腔ケアが困難な方には 職員が支援している。また定期的な 入れ歯洗浄も行っている。		A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	本人の口腔状態に合ったケアを実践しており、今後も食事が楽しめるようにしてもらいたい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を 活かして、トイレでの排泄や排泄の自立 にむけた支援、便秘の予防等、個々に応 じた予防に取り組んでいる	A) 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	排泄のリズムを把握し、定期的に誘導を行い、トイレにて気持ちよく排泄 が出来るよう支援している。		A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	定期的に声掛け誘導が行われており・ 引き続き、自立に向けた支援に取り組ん でいただきたい。
32	入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせ て入浴を楽しめるように、職員の都合で 曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々 にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴が出来るように心がけ、 声掛けを行っている。しょうぶ湯やゆず湯など、季節を感じ取れる入浴方法なども取り入れている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	各々に合った生活が送れるように支援している。また夜間、眠れずに落ち着かれない方には職員が寄り添ってお茶を飲むなどし、その方は勿論、他の方々も安心して休めるよう努めている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解してお り、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	ご利用者全員の服薬説明書をお薬 手帳に添付している。また個々にファ イリングする事により緊急時の対応 に備えている。		A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	職員間で、使用されている薬の目的を 把握し、引き続き、服薬に関する支援と 症状の変化に気付くことができるように していただきたい。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ® ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活歴や有する力を把握し、日常生活において出来る役割を見つけていただけるよう支援している。また、レクなども自分で選び、楽しめるよう支援している。	(家族代表)よくしてもらっているので家族としては感謝の気持ちです。手紙に同封されている写真を見て安心しています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸 外に出かけられるよう支援に努めてい る。また、普段は行けないような場所で も、本人の希望を把握し、家族や地域の 人々と協力しながら出かけられるように 支援している	A. 充分にできている ® ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	交通量が少なく、自然に囲まれた環境を活かし、気候の言い時期は、よく散歩に出掛けたりしている。また感染状況に注意しながら家族との外出、職員とドライブに行く機会を設けている。	ご利用者の希望を聞き、ご家族などと協力するなど、出来る限り外出などできるよう支援している。コロナが落ち着いたらまたいろいろな事ができるようになると思う。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望やカ に応じて、お金を所持したり使えるように 支援している	A 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望があれば、家族と相談して所持していただき、買い物や病院 受診の際に使用している。金銭管理 が困難な方は事務所金庫にて保管 し、必要に応じ出金を行っている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をした り、手紙のやり取りができるように支援を している	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	本人の希望を聞きながら電話や手紙は自由に行えるように支援している。		
39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	共有空間には、皆で作った季節感の ある飾りつけなどをし、常に清潔であ るように心がけている。また居室にお いても、個別に好みの温度で過ごせ るよう支援している。	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	施設内の各所に四季や行事等の季節 感のある飾りつけやイベント時の利用者 の楽し気な写真を飾るなど、利用者が 居心地よく過ごせるように心がけてい る。
IV. Z	人の暮らしの状況	把握・確認項目(利用者一人ひとりの確	認項目)			
40		本人は、自分の思い、願い、日々の 暮らし方の意向に沿った暮らしができ ている	A. 充分にできている B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの思いや、願い、意向の 把握に努め、本人との日常会話や面 会の方々との意見交換により集めた 情報から、本人の視点に立って検討 を行っている。		
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、 暮らしの習慣、特徴など様々な情報 をもとに、ケア・支援を受けることがで きている	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	ご家族やご本人からの聞き取りや、 日常的な関わりの中で情報を集め、 支援やケアに活かしている。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	B. ほぼできている	ご本人の訴えや普段の様子の変化 など記録につけ、よりよい生活が送 れるよう検討を行っている。また非常 勤の看護師などとも連携をとりアドバ イスをもらっている。	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	利用者個々の普段の様子から気づいた点について、職員間や看護師等との連携により、より良い生活が送れるよう検討を行っている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの 暮らしの習慣にあった生活ができて いる	A. 充分にできている B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の生活リズムを尊重し、コミュニケーションをとりながら、ご本人が不安なく安心して過ごしやすい環境になるよう支援している		

44		本人は、自分のなじみのものや、大 切にしているものを、身近(自室等) に持つことができている	A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	実際に長年使われていた馴染のも のを使用していただいており、ご家 族の写真なども飾っている。		A. 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	居室内には、本人馴染みの家具や小物等が置かれ、安心して過ごせるように 工夫している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、 戸外に出かけることや、催(祭)事に 参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近所への散歩やドライブなど外出支援を行っている。感染対策をしながら希望によりご家族との外出などもされているがコロナ禍で機会が減ってしまっている。	コロナがあるので、外出頻度が減っているのは仕方がない。コロナが落ち着くのを待つしかない。		
46		本人は、自分ができること・できない こと、わかること・わからないことを踏 まえた、役割や、楽しみごとを行うこと ができている	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	日常生活の中で、ご本人の有する力 や楽しまれていることなどを把握し、 一人ひとりが役割や楽しみを持って 生活できるよう支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	職員やご利用者同士でも和気あい あいと過ごされている。得意なことは お願いして手伝っていただくなど日 常生活の中で役割を持っていただけ るよう支援している。		A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	洗濯物を畳んだり、ちょっとした荷物の 持ち運び等、利用者がそれぞれ得意な 事を活かせるよう努めている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ① ほとんどできていない	面会のほか病院受診時や感染状況 をみながらの外出時など顔なじみの 方々と会い、交流を持たれている が、コロナ禍で機会が減っている。	コロナ禍の中、工夫しながら取り組んでいると思う。コロナが落ち着いたらまたいろいろな事ができるようになると思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	ご家族、ご利用者同士の交流や職員との信頼関係を築き、安心して生活ができるようにしている。	ご利用者だけではなく、家族ともやり取りをしている。家族代表の方が言っていることが全てだと思う(家族代表)入居をきっかけに優しい気持ちになることができました。	A 充分にできているB. ほぼできているC. あまりできていないD. ほとんどできていない	利用者の笑顔もみられ、また運営推進会議では、家族代表の方より施設側から頻繁に連絡があり利用者の情報を共有できることに喜んでおられ信頼関係が構築されていることが分かる。